

夏休み太陽電池教室

舞鶴工業高等専門学校

実施日 令和2年8月16日
実施場所 舞鶴高専
地域共同テクノセンター
担当者 内海 淳志

実施内容

8月16日（日）舞鶴高専の地域共同テクノセンターを利用して、中学生向けの公開講座「夏休み太陽電池教室」を開催しました。この公開講座の担当は内海教授で、公開講座の準備と実施には電気情報工学科5年生1名と専攻科電気電子システム工学コースの学生2名に協力してもらいました。公開講座には、舞鶴市およびその近隣の市町村在住の中学1年生から3年生まで計10名の参加がありました。

今回の公開講座は、太陽電池のしくみを学んで、どのようにすれば多く発電できるのかを実験で確かめることが目的でした。まず、太陽電池のしくみを学習した後、テスタを使用して発電を体験しました。この日は晴天で日射量の非常に高い状態で、太陽電池の発電実験を行うには最適の条件でした。また、舞鶴高専で開発しているシリコン太陽電池の研究開発を紹介し、実際の研究設備の見学なども行いました。2時間の公開講座でしたが、いろいろな体験をしながら、太陽電池に対する理解を深めてもらえたものと思います。テスタを使った測定などでとまどう場面もありましたが、熱心に取り組んでいただき無事に講座を終えることができました。

講座終了時には、「太陽電池のしくみの話が面白かった」、「効率の良い太陽電池を作ってみたいと思いました」等の言葉がありました。仕組みに興味をもってもらえたことや、新しいものづくりにチャレンジしたいといった言葉があったことはとても嬉しいことです。今回の公開講座をきっかけとして、より科学やものづくりに興味を持ってもらえたものと思います。



■ 実験準備



■ 発電実験



■ 工作風景



■ 動作確認